



明峰

令和8年7月10日

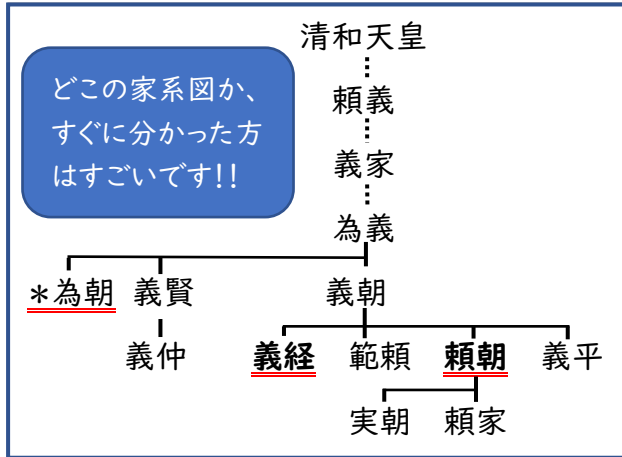
第9号

校長 岡野利男

※犬塚さんからの贈りもの
7月6日からの生け花は
・タツマキ杉
・ケイトウ
・スターチス です。
いつもありがとうございます。



明峰地区の魅力を探る その③「御館山」



社会科の授業っぽく家系図の提示から…。

お分かりの方も多いかな…、源氏の家系図です。太字になっている“源頼朝”“源義経”については、もはや説明の必要はありませんね。ところで、家系図の一番左端に*マークの付いた「為朝さん」を御存じの方はどれくらいおられるでしょうか…。

○頼朝さん・義経さんのお父さんである義朝さんの弟になる人、つまり、頼朝さんや義経さんのおじに当たる人です。

○身長2mを超える巨体で、剛勇無双。父の為義さんも為朝さんの暴れっぴりに手を焼いて、九州に追いやったとか。^{ちんぜいはちろう}「鎮西八郎」の名で九州各地に伝説を残している人です。

その源為朝さんは、この諫早にもやって来たとの言い伝えが残ります。そして、館を築いて武芸の鍛錬を重ねたとされるのが、現在、「御館山神社」の建つところ。為朝さんは、清和源氏の家系の人 = 身分が高い方 = 御方、その方の居館があったということで、【御館山】の名称が誕生!! 諫早市教育委員会の学芸員さんに尋ねたところ、「残念ながらそれを立証する史料はないため、あくまでも言い伝えに過ぎないけれど…」ということでしたが、同時に、おっしゃったのが、「御館山神社の建つ山の頂上は、市内が一望できる



御館山神社境内には、為朝の弓矢が刺さった跡とされる「矢受石」もあります。ぜひ見学に。

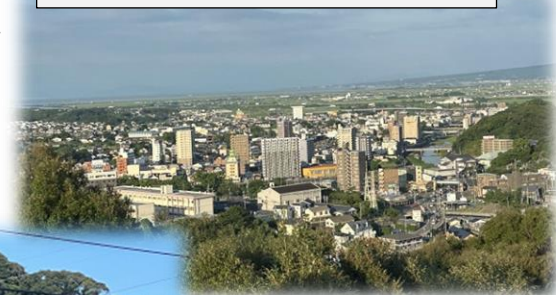
見晴らしの良い場所。当然ながら、この山自体が、霊験あらたかな場所として大切にされてきたことは言うまでもありません。」とのこと。

「御館山小学校」や「御館山地区」、さまざまな場で用いられる“御館山”の名。この美しく響きの良い名の背景には、やはり、深い歴史がありました。

さてさて、明峰中校区、且つ、御館山小校区住民である皆様のうち、「御館山神社」や「御館山公園」を訪れたことがある方はどれくらいでしょうか。学芸員さんのお言葉のとおり、頂上の展望台からは市内が一望できます。実にすばらしい眺めです。

左下の写真は字都の交差点の歩道橋から撮影した御館山神社。

御館山展望台から諫早駅方面の風景（岡野撮影）



私のスマートフォンでは、これが限界であり、様子がはっきりとしないのが申し訳ないのですが、字都の交差点からはっきりと見える美しい稲荷神社です。特に、春の桜の頃の美しさは、格別です。そもそも、この

場所に神社が建ったきっかけは、行基上人の巡業の折とのこと。（行基上人はお子さんの歴史の教科書P46にも載っています。奈良時代に庶民に仏教を説いた僧です。）詳細は、御館山神社HPで御確認ください。

なお、御館山神社のことを詳しく教えてくださったのは、当神社の女性神主である藤本なつきさん。36年前に、私が初めて中学校教師として明峰中学校1年2組を担当した時の生徒です。（神主姿を写真で載せたいとお願いしましたが、断られてしまいました…。）みなさま、是非、御館山神社へ。